

PORTFOLIO 2026

森田 詩織

グラフィックデザイナー／デザイン経験 8年
パッケージ・誌面・広告のデザイン

得意分野　食品パッケージ、地域の情報誌、観光の広告

更新　2026.09

CONTENTS

目次

全21ページ／作品6点

PACKAGE & BRANDING — パッケージ・ブランディング

01　洋菓子店の季節限定パッケージ　パッケージデザイン　2025　p.03

02　インテリア事務所のロゴ・名刺・封筒　ブランディング　2024　p.06

EDITORIAL — 誌面・書籍

03　地域情報誌「みなとまち日和」の誌面デザイン　エディトリアルデザイン　2024–2025　p.09

04　生活実用書シリーズの装丁　ブックデザイン　2025　p.12

ADVERTISING — 広告・販促

05　島めぐりキャンペーンのポスター・交通広告　広告デザイン　2025　p.15

06　アートイベントの三つ折りリーフレット　販促デザイン　2025　p.18

PROFILE

—　プロフィール　経歴・得意分野・使用ソフト　p.21

WORKS 01

洋菓子店の季節限定パッケージ

パッケージデザイン



案件区分： クライアントワーク（実案件）

担当： デザイナー（企画提案からデザインまで1人で担当）

制作期間： 2025年5月〜2025年8月（4か月）

成果： 限定商品の売上 前年比128%

WORKS 01

洋菓子店の季節限定パッケージ　詳細

パッケージデザイン

制作物： 焼き菓子の箱3種、紙袋、店頭POP

担当： デザイナー（企画提案からデザインまで1人で担当）

担当範囲： 調査　設計　デザイン　検証

メンバー構成： 店舗オーナー、印刷会社の担当者

使用ソフト： Illustrator, Photoshop

制作期間： 2025年5月〜2025年8月（4か月）

実働： 約160時間

目的： 秋の限定商品を、手土産として選ばれるものにしたい

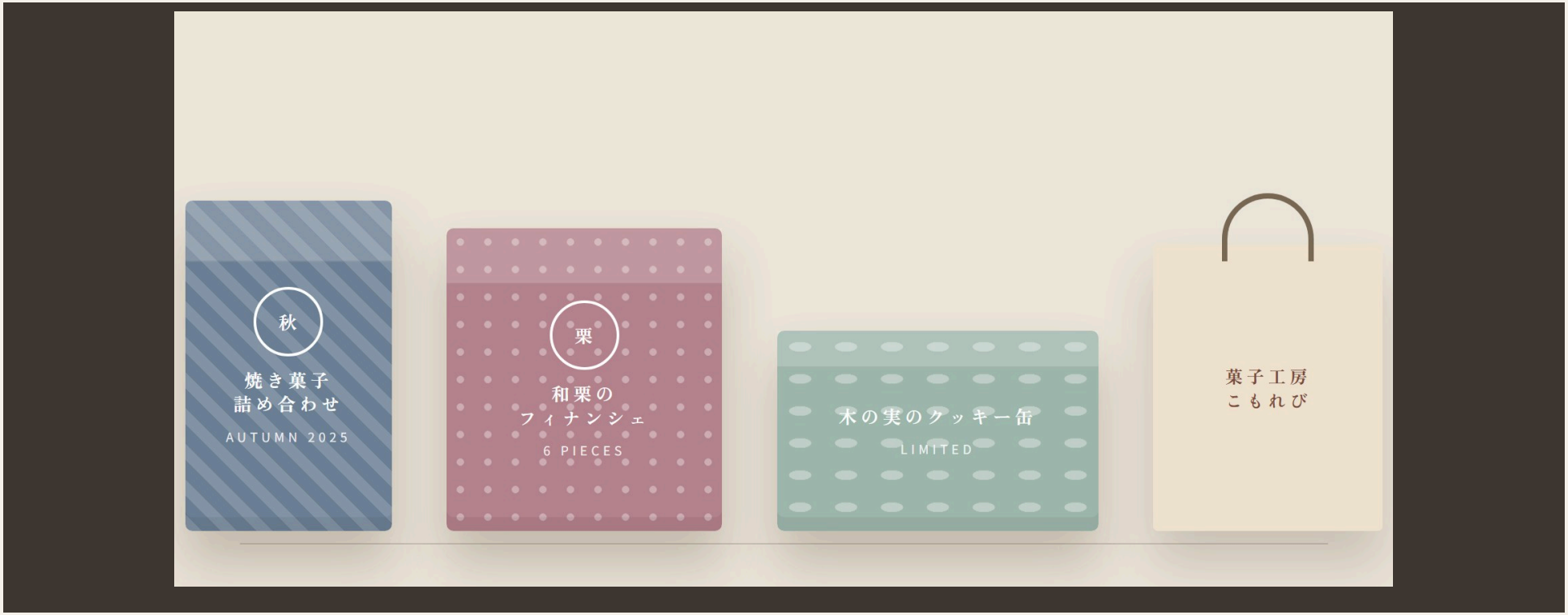
課題： 既存の箱は定番商品と見分けがつかず、限定感が伝わらない

考えたこと： 店のロゴは小さく残し、季節の素材（栗・木の実）を柄にする

制作： 3種の箱で柄と色を分け、文字組みをそろえてシリーズに見せた

成果： **限定商品の売上 前年比128%**

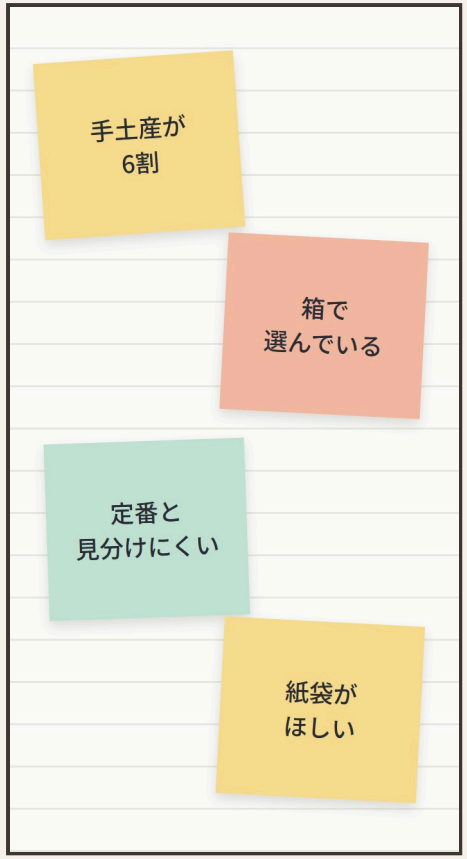
9〜11月の売上。紙袋の注文も増え、翌年の春夏版も依頼された。



WORKS 01

洋菓子店の季節限定パッケージ　制作の過程

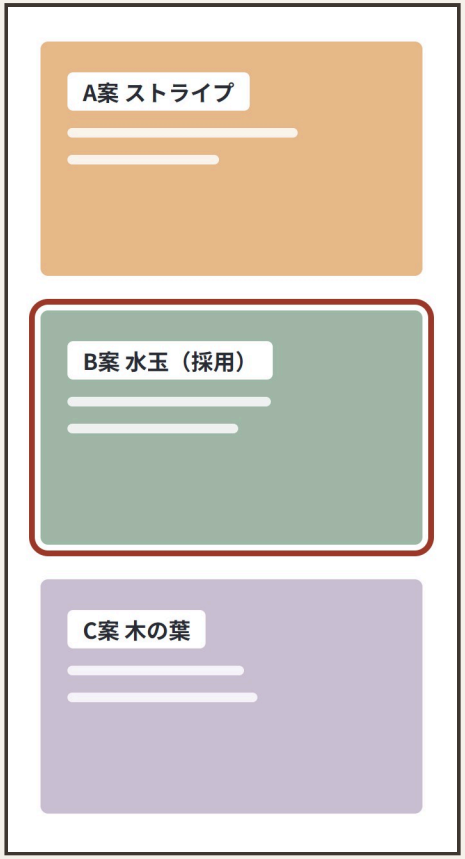
パッケージデザイン



1. 調査
店頭で手土産を選ぶ人の様子を観察し、選ばれ方を整理



2. ワイヤーフレーム
箱の展開図と、並べたときの見え方を決める



3. ラフ3案
柄の方向性をストライプ・水玉・木の葉の3案で比較



4. 完成
色校正を2回行い、印刷の色味を調整して仕上げ

決めたこと： 3案を店頭に並べて試し、遠くからでも季節が分かる柄を採用した。

WORKS 02

インテリア事務所のロゴ・名刺・封筒

ブランディング



案件区分： クライアントワーク（実案件）

担当： デザイナー（ヒアリングからデザインまで1人で担当）

制作期間： 2024年2月〜2024年4月（3か月）

成果： 紹介での問い合わせ 月2件 → 5件

WORKS 02

インテリア事務所のロゴ・名刺・封筒　詳細

ブランディング

制作物： ロゴ、名刺、封筒、レターヘッド

担当： デザイナー（ヒアリングからデザインまで1人で担当）

担当範囲： 調査 / 設計 / デザイン / 検証

メンバー構成： 事務所の代表、印刷会社の担当者

使用ソフト： Illustrator

制作期間： 2024年2月〜2024年4月（3か月）

実働： 約90時間

目的： 移転を機に、事務所の考え方が伝わる名刺と封筒をつくる

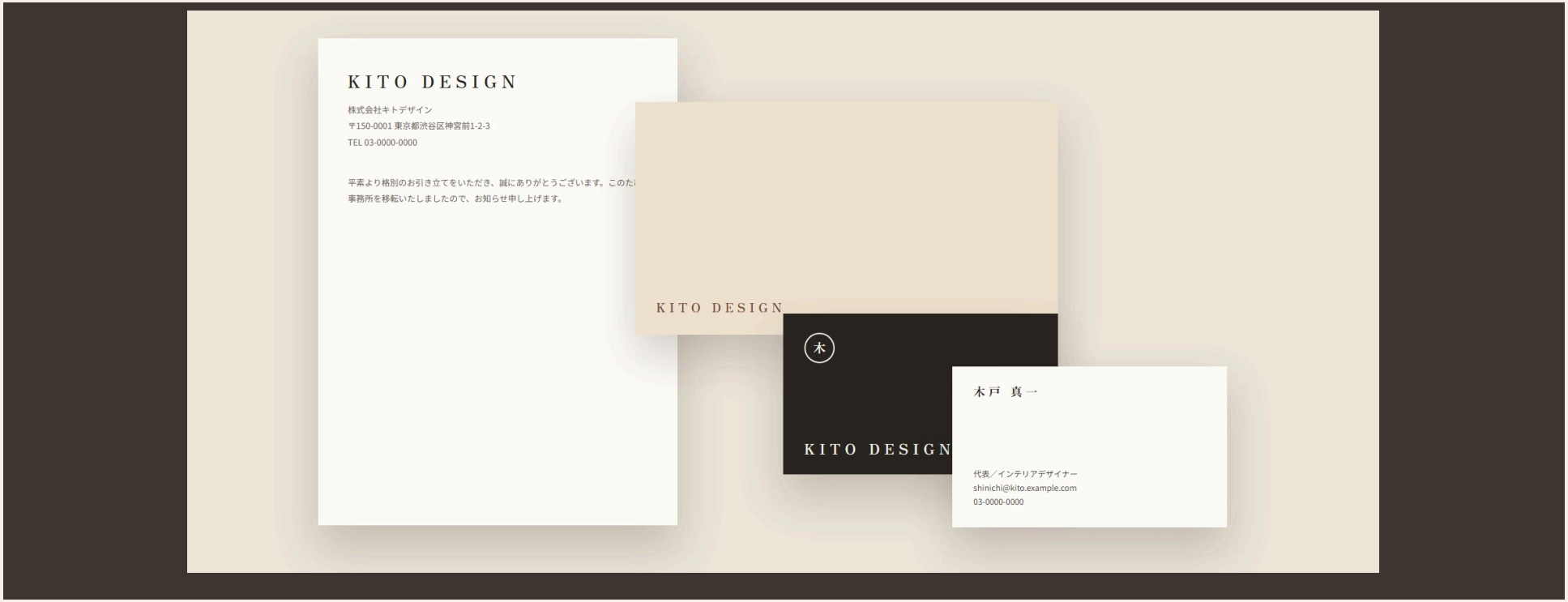
課題： 以前のロゴは既製の書体のままで、事務所の特徴が伝わらない

考えたこと： 木目の質感は紙で表し、ロゴは「木」の字を円に収めた控えめな形にする

制作： 名刺は木目の入った紙に1色で刷り、封筒と文字組みをそろえた

成果： **紹介での問い合わせ 月2件 → 5件**

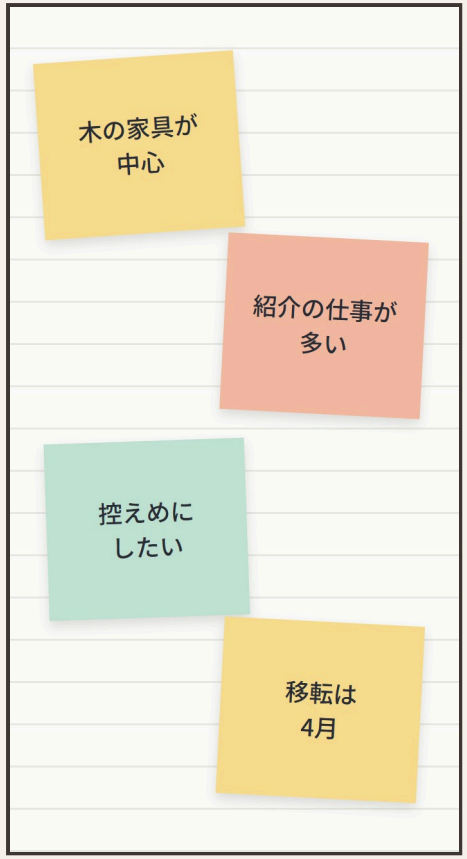
移転後半年の平均（代表の集計）。名刺を渡したときの反応も良い。



WORKS 02

インテリア事務所のロゴ・名刺・封筒　制作の過程

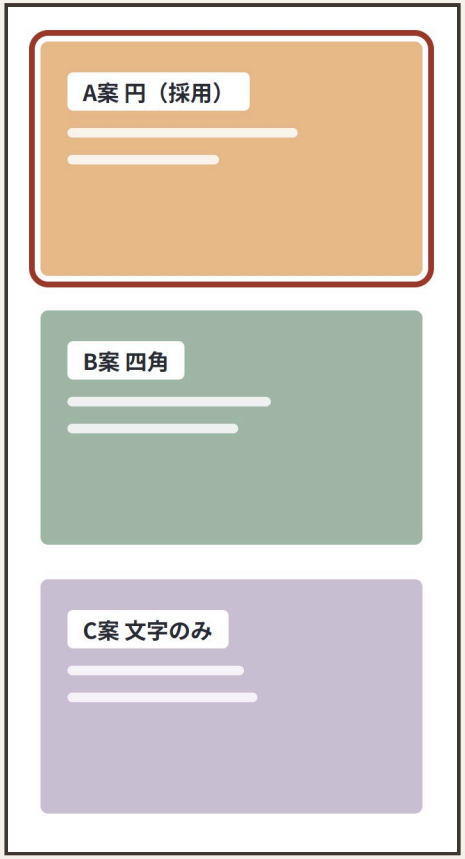
ブランディング



1. 調査
代表へのヒアリングと、家具の素材・色の確認



2. ワイヤーフレーム
名刺と封筒の情報の位置と余白を決める



3. ラフ3案
ロゴの形を円・四角・文字のみの3案で比較



4. 完成
紙を2種類試し刷りして仕上げ

決めたこと： 3案を名刺の大きさで刷って比べ、家具の写真と並べても主張しすぎない円の案を採用した。

WORKS 03

地域情報誌「みなとまち日和」の誌面デザイン

エディトリアルデザイン



案件区分： クライアントワーク（実案件）

担当： アートディレクター（誌面の設計・撮影の立ち会い）

制作期間： 2024年4月〜2025年3月（1年・4号）

成果： 読者アンケートの満足度 3.6 → 4.3

WORKS 03

地域情報誌「みなとまち日和」の誌面デザイン　詳細

エディトリアルデザイン

制作物： 季刊の地域情報誌 特集ページ（年4回・各16ページ）

担当： アートディレクター（誌面の設計・撮影の立ち会い）

担当範囲： 調査　設計　デザイン　検証

メンバー構成： 編集者2名、ライター1名、カメラマン1名、デザイナー2名

使用ソフト： InDesign, Illustrator, Photoshop

制作期間： 2024年4月〜2025年3月（1年・4号）

実働： 約600時間

目的： 特集を読んで、実際に街を歩いてもらう

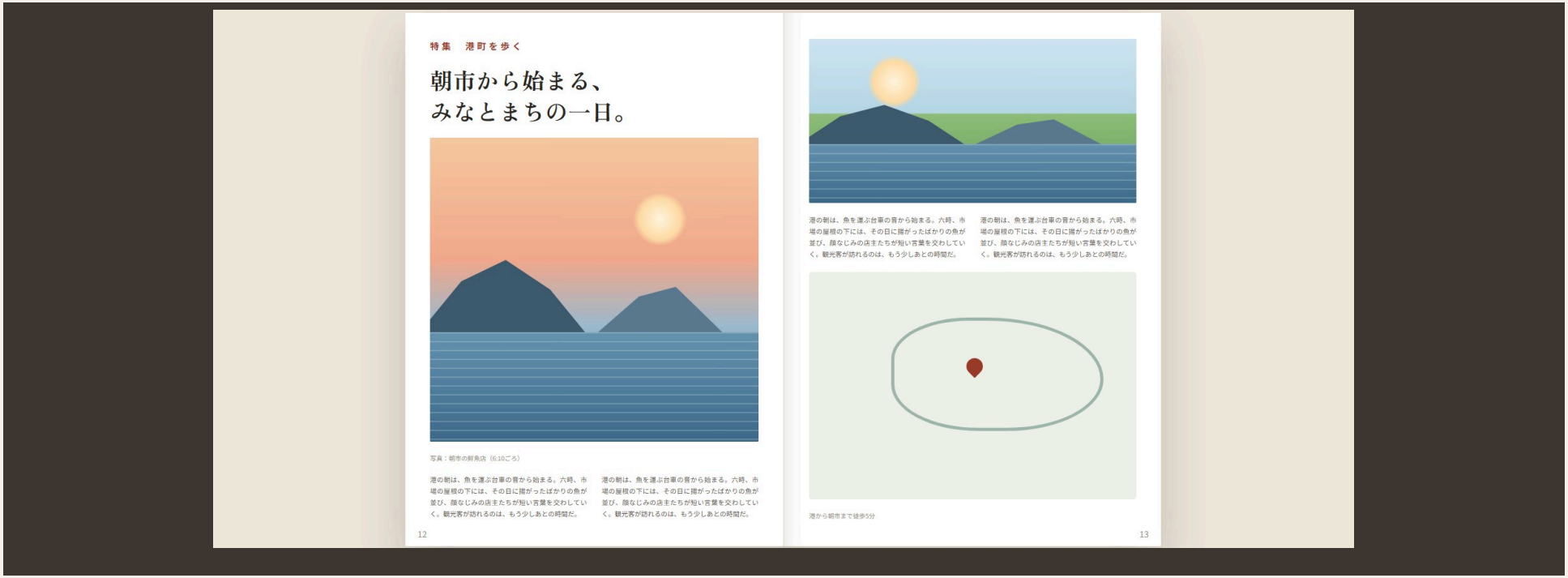
課題： 特集ページが文字中心で、読み飛ばされやすい

考えたこと： 写真を大きく使い、地図とセットで「歩いてみたくなる」誌面にする

制作： 見開きごとに写真1枚を大きく置き、地図と店の情報の位置をそろえた

成果： **読者アンケートの満足度 3.6 → 4.3**

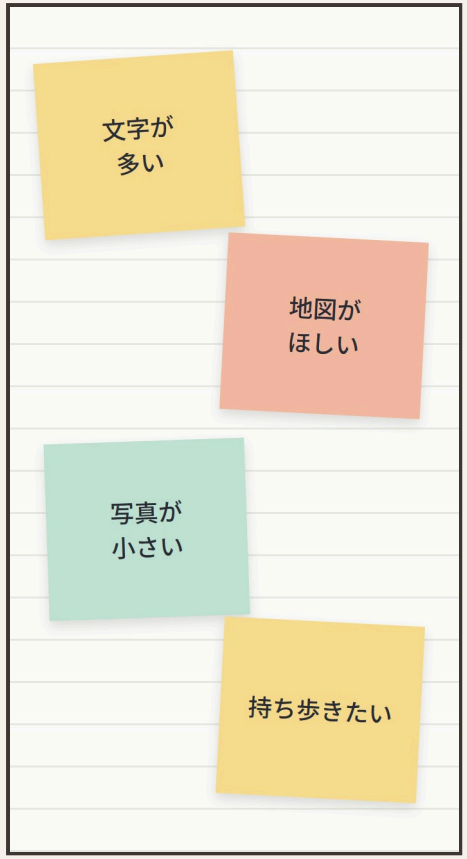
5段階評価、4号の平均。特集の地図を持って歩く読者の投稿も増えた。



WORKS 03

地域情報誌「みなとまち日和」の誌面デザイン　制作の過程

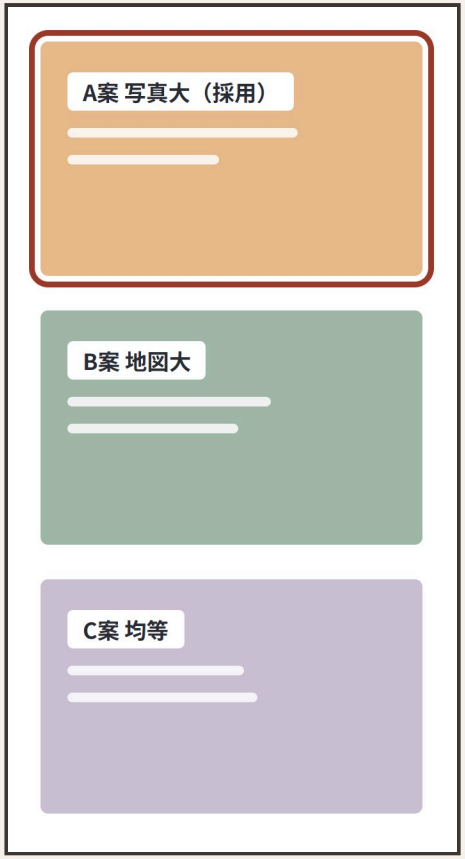
エディトリアルデザイン



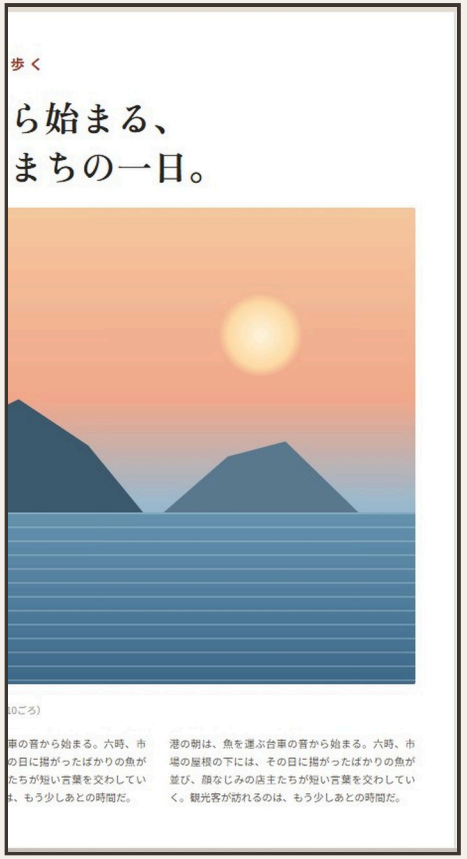
1. 調査
読者アンケートと、配布場所での手に取られ方を確認



2. ワイヤーフレーム
見開きごとに写真・地図・店の情報の位置を決める



3. ラフ3案
写真の使い方を3案で比較



4. 完成
撮影に立ち会い、色校正を経て仕上げ

決めたこと： 3案を読者モニターに見せ、歩いてみたくなると最も多く言われた写真の大きい案を採用した。

WORKS 04

生活実用書シリーズの装丁

ブックデザイン



案件区分： クライアントワーク（実案件）

担当： 装丁デザイナー（カバーと帯を担当）

制作期間： 2025年1月〜2025年6月（6か月）

成果： シリーズ累計 4.2万部

WORKS 04

生活実用書シリーズの装丁　詳細

ブックデザイン

制作物： 生活実用書シリーズのカバー・帯・本扉（3冊）

担当： 装丁デザイナー（カバーと帯を担当）

担当範囲： 調査　設計　デザイン　検証

メンバー構成： 編集者1名、イラストレーター1名、デザイナー1名

使用ソフト： Illustrator, InDesign

制作期間： 2025年1月〜2025年6月（6か月）

実働： 約140時間

目的： 書店の棚で、シリーズとして手に取ってもらいたい

課題： 3冊ともテーマが違い、並べたときにまとまりが出にくい

考えたこと： 色は1冊ずつ変え、題字の書体と配置をそろえて同じ棚の本と分かるようにする

制作： 題字の位置と帯の高さを統一し、イラストの面積を3冊で同じにした

成果： **シリーズ累計 4.2万部**

発売から半年の集計。書店での面陳（表紙を見せた陳列）も増えた。



WORKS 04

生活実用書シリーズの装丁　制作の過程

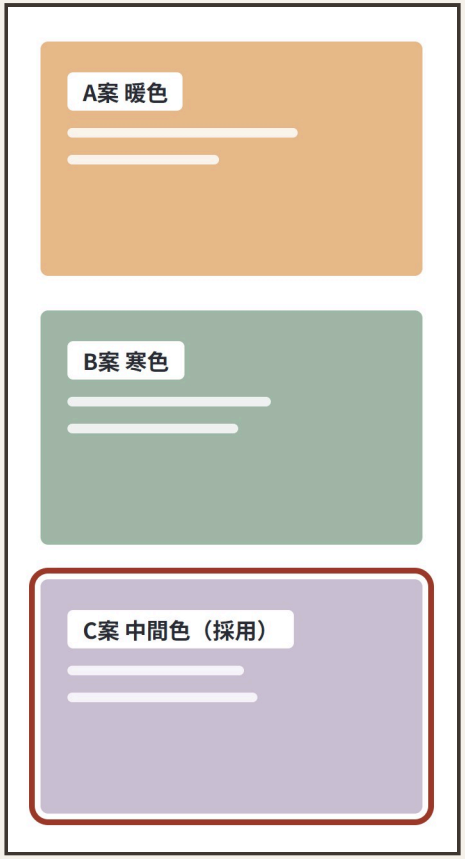
ブックデザイン



1. 調査
書店の棚を見て回り、同じ分野の本の色と配置を整理



2. ワイヤーフレーム
題字・イラスト・帯の位置をそろえる型を決める



3. ラフ3案
色の組み合わせを暖色・寒色・中間色の3案で比較



4. 完成
色校正を経て、紙の質感に合わせて仕上げ

決めたこと： 3案を書店の棚の写真に重ねて比べ、最もシリーズに見える中間色の案を採用した。

WORKS 05

島めぐりキャンペーンのポスター・交通広告

広告デザイン



案件区分： クライアントワーク（実案件）

担当： デザイナー（メイン担当）

制作期間： 2025年6月〜2025年9月（4か月）

成果： 島めぐりパスの販売数 前年比140%

WORKS 05

島めぐりキャンペーンのポスター・交通広告　詳細

広告デザイン

制作物： B1ポスター、駅貼りポスター、車内広告（計5種）

担当： デザイナー（メイン担当）

担当範囲： 調査　設計　デザイン　検証

メンバー構成： ディレクター1名、コピーライター1名、デザイナー2名

使用ソフト： Illustrator, Photoshop

制作期間： 2025年6月〜2025年9月（4か月）

実働： 約200時間

目的： 島めぐりパスを、夏から秋の旅行の候補にしてもらう

課題： 例年のポスターは情報が多く、駅で立ち止まってもらえない

考えたこと： 夕景の写真とコピーで「行ってみたい」と思わせ、情報は下にまとめる

制作： 写真を全面に使い、コピーと料金・期間の位置を5種でそろえた

成果： **島めぐりパスの販売数 前年比140%**

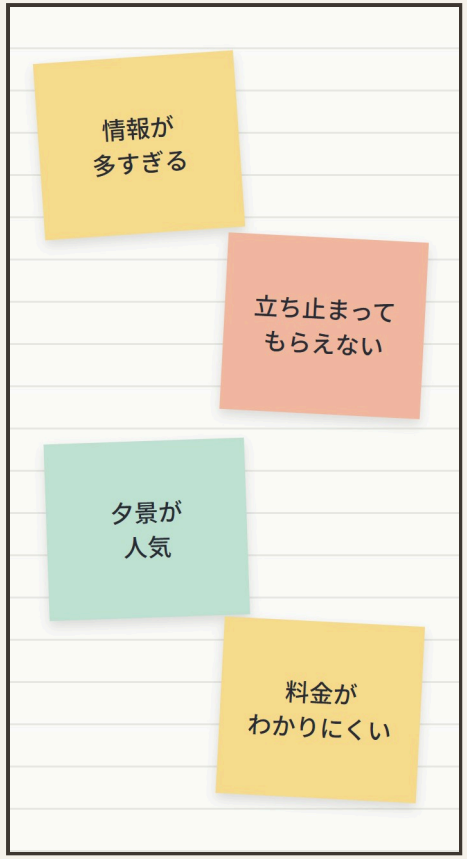
キャンペーン期間（3か月）の集計。駅の案内所での問い合わせも増えた。



WORKS 05

島めぐりキャンペーンのポスター・交通広告　制作の過程

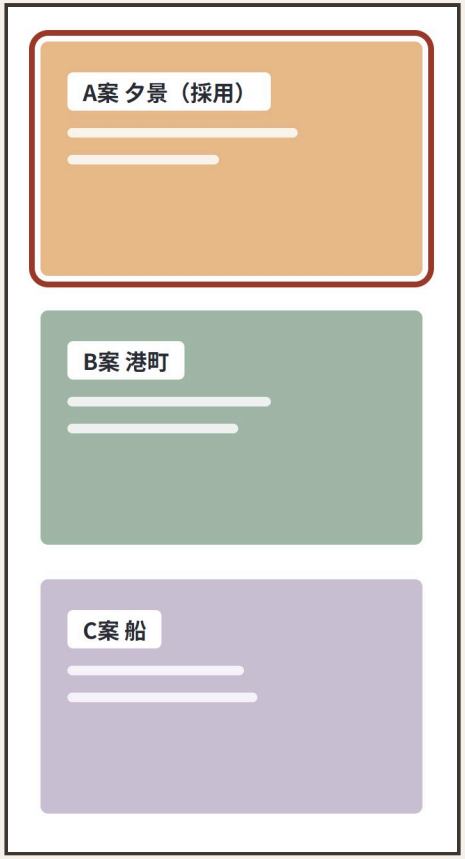
広告デザイン



1. 調査
例年のポスターと、駅での見え方を現地で確認



2. ワイヤーフレーム
写真・コピー・情報の3つの位置を決める



3. ラフ3案
写真を夕景・港町・船の3案で比較



4. 完成
駅で試し貼りをして、文字の大きさを調整して仕上げ

決めたこと： 3案を駅の写真に合成して比べ、遠くからでも目に留まった夕景の案を採用した。

WORKS 06

アートイベントの三つ折りリーフレット

販促デザイン



案件区分： クライアントワーク（実案件）

担当： デザイナー（企画の相談から入稿まで1人で担当）

制作期間： 2025年7月〜2025年9月（3か月）

成果： 来場者数 目標の1.6倍

WORKS 06

アートイベントの三つ折りリーフレット　詳細

販促デザイン

制作物： 三つ折りリーフレット（A4）・告知ポスター（B2）

担当： デザイナー（企画の相談から入稿まで1人で担当）

担当範囲： 調査　設計　デザイン　検証

メンバー構成： 実行委員会3名、デザイナー1名

使用ソフト： InDesign, Illustrator

制作期間： 2025年7月〜2025年9月（3か月）

実働： 約110時間

目的： 初めての開催でも、来場の予約につなげる

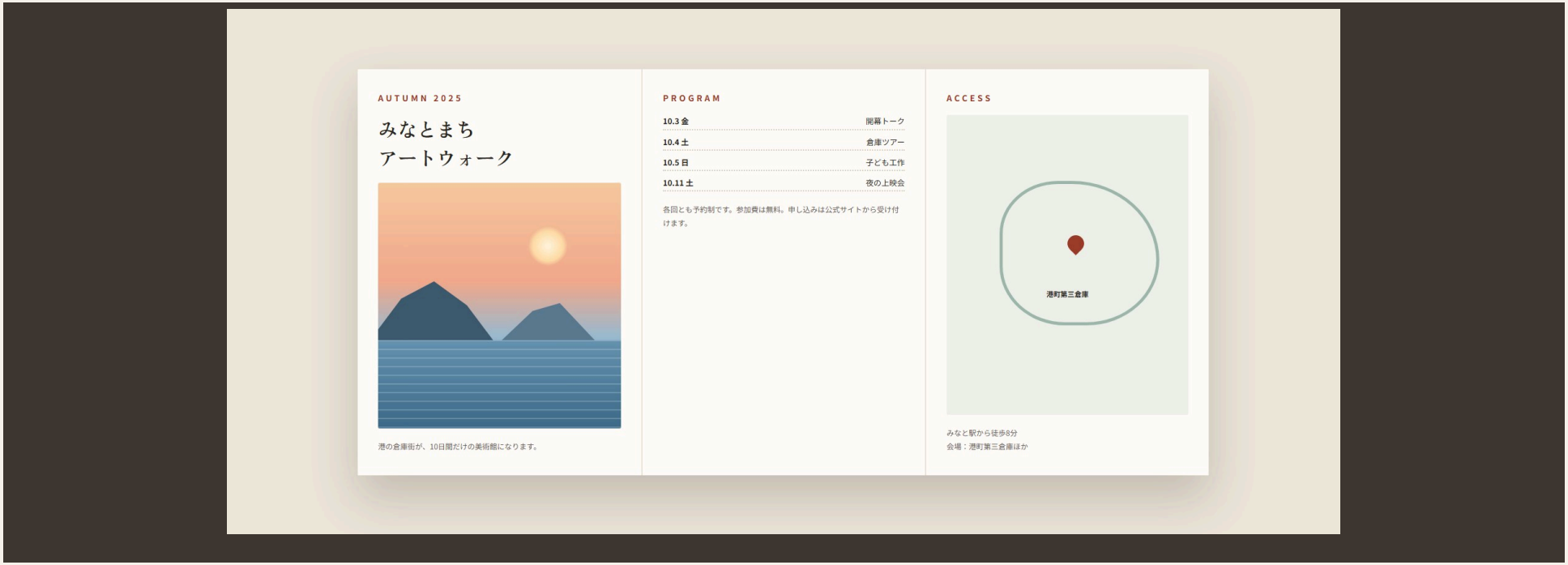
課題： 初めての開催で、どんなイベントか伝わりにくい

考えたこと： 表紙は倉庫街の写真で場所の雰囲気を伝え、中面に日程と予約の流れをまとめる

制作： 開いた順に場所・作品・日程・予約と読めるよう、面ごとに内容を分けた

成果： **来場者数 目標の1.6倍**

実行委員会の集計。予約の約半数がリーフレットのQRコードからだった。



WORKS 06

アートイベントの三つ折りリーフレット　制作の過程

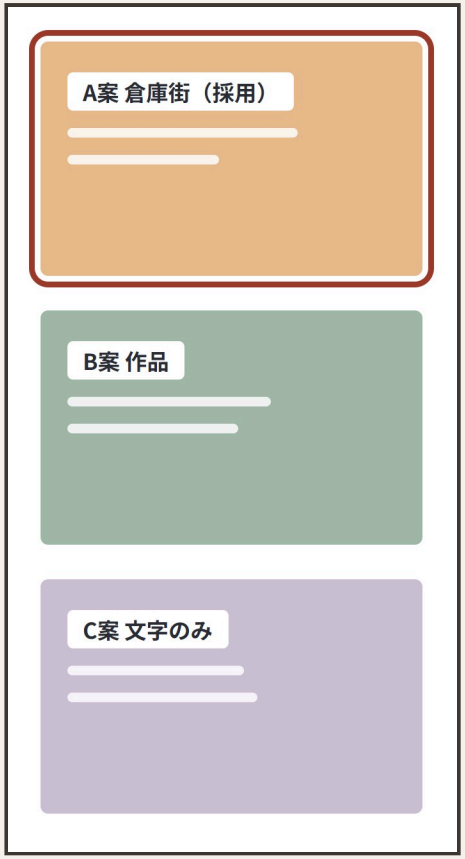
販促デザイン



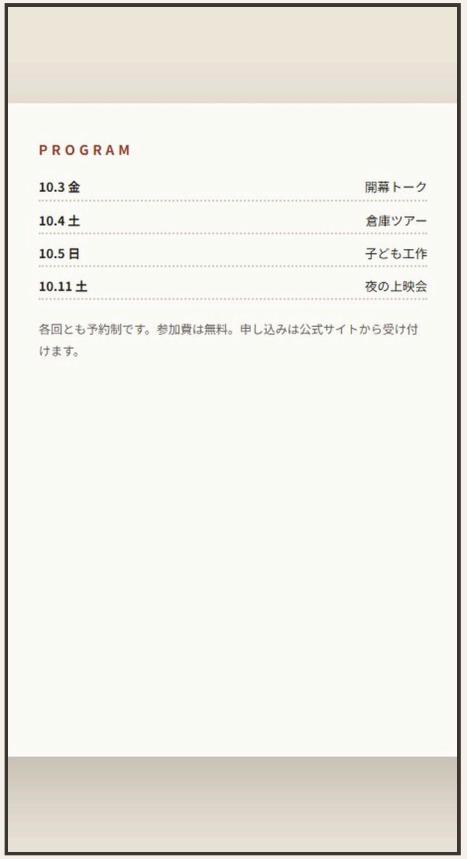
1. 調査
実行委員会と会場を下見し、伝えたいことを整理



2. ワイヤーフレーム
三つ折りの面ごとに、読む順番を決める



3. ラフ3案
表紙を倉庫街・作品・文字のみの3案で比較



4. 完成
紙の手ざわりを確かめ、色校正をして仕上げ

決めたこと： 3案を実行委員会と地域の方に見せ、場所の雰囲気が最も伝わった倉庫街の案を採用した。

PROFILE

プロフィール

森田 詩織

グラフィックデザイナー／デザイン経験 8年
パッケージ・誌面・広告のデザイン

手に取った人の気持ちが少し動くデザインを
目指しています。
店頭や街での見え方を確かめ、印刷の仕上がりまで責任を
持って進めます。

メール　shiori.morita@example.com

経歴

2018.04 – 2021.03	広告制作会社　グラフィックデザイナー（交通広告・販促物）
2021.04 – 現在	デザイン事務所　アートディレクター（パッケージ・誌面）

得意分野

食品パッケージ、情報誌の誌面設計、観光・地域の広告、印刷の色校正と入稿データの作成

使用ソフト

Illustrator　Photoshop　InDesign　色校正・入稿